

# ゆう めい せんきょう し 有名な宣教師：エミー・カーマイケル

しゅっせいち きた しゅう むら  
出生地：北アイルランド、ダウ州、ミリスル村

しゅっせいび ねん がつ にち  
出生日：1867年12月16日

かぞく にんきょうだい ちょうじょ  
家族：7人兄弟の長女

せんきょうし く に ほん  
宣教師として暮らした国：日本、インド

エミー・ウィルソン・カーマイケル（1867-1951年）は、宣教師として日本に滞在し、その後インドに渡りました。インドのタミル・ナドゥ州のドノヴァーで、児童養護施設を開き、宣教本部を設立しました。エミーは、現地の家族がヒन्दゥー教寺院に奴隷として捧げた子供達を救済する活動をしたことで有名です。また、人々に神様の愛を伝えることに情熱を注いだことも知られています。エミーは、55年間インドで活動し、そこでの宣教活動について、多くの本を書きました。

さいしょ せんきょうち に ほん む ふね きたな ふね なか むし み かいかつ  
最初の宣教地である日本に向かう船では、汚い船の中や虫を見ても快活にふるまう  
エミーを見て、船長がキリスト教に改心しました。



せんきょうかつどうちゅう かずかず こんなん しょうがい の こ うち しょうかい  
宣教活動中、エミーは数々の困難や障害を乗り越えました。その内のいくつかを紹介しましょう。

しょうがい  
**障害**：インドでの布教活動には、危険が伴いました。ヒンドゥー教のカースト制度<sup>1</sup>の高い階級に  
ぞく ひと かいしゅう  
属する人が改宗するたびに、おお はくがい お  
大きな迫害が起こりました。ヒンドゥー教の地域社会は、手段を選ばず  
はくがい  
クリスチャンをことごとく迫害したのです。ミッションスクールは、閉鎖に追いやられたり、焼き  
う  
討ちにあたりました。教会は破壊され、宣教師達は散々なぐられ、次から次へと訴訟が起こされ  
ました。

こくふく とうじ だいぶ ぶん せんきょうし たち せいようじん かつこう は おも  
**克服**：当時、大部分の宣教師達は、西洋人らしい格好をしていないのは恥ずべきことだと思っていま  
したが、エミーは、げんち じん おな み たび ふきょうかつどう はだ そ  
現地のインド人と同じ身なりで旅をし、布教活動をしました。肌を染め、サリーを  
き  
着ると、ヒンドゥー教徒とみなされ、それが、ふきょうかつどう せいこう おお やくわり は  
布教活動を成功させる大きな役割を果たしたのです。

### いちいん きょうくん 「一員となる」ことについてのエミーの教訓

使徒パウロは、かつてこう言いました。「(私は) すべての人に、すべてのものとなりました。  
それは、なんとかして、幾人かでも救うためです。私はすべてのことを、福音のためにしています。  
それは、私も福音の恵みをとともに受ける者となるためなのです。」(新改訳聖書、コリント人への  
てがみだいいち  
手紙第一 9:22-23) エミーもまた、パウロの言葉の大切さを学びました。日本にいた時、  
にほんご わ  
まだ日本語は分からなかったものの、それでもイエス様のことを伝えに出かけた時のことです。  
つうやく  
通訳のみさきさんがエミーに、きもの き ていあん せいようふく  
着物を着てはどうかと提案しましたが、エミーは西洋服のままで  
い  
行くことにしました。ふたり ふくいん かんしん びょうき ろうふじん みま  
二人は、福音に関心がありそうな病気の老婦人を見舞いましたが、主を  
うけい  
受け入れたいかどうかをたずねようとした時、ろうふじん エミーのファー手袋を見て、それは  
なに  
何かとたずねました。結局その女性は救われませんでした。



いえ かえ くるま なか  
家に帰る車の中で、エミーはくやし涙を流しました。もう決して、こんなちっぽけなことの  
せいでおお しばい おか  
せいで大きな失敗は犯すまいと、エミーはちか  
誓いました。それ以来、イエス様について伝える  
ためにひと あ とき  
ひとに会う時は、地元の人達と同じ服を着て行きました。



しょうがい  
**障害**：エミーには、しんけいつう  
神経痛という持病がありました。そのせいでからだ やわ  
弱く、いた とこな  
痛みを伴い、なんしゅうかん  
何週間も  
ねたきりになることもしょっちゅうありました。

こくふく びょうき  
**克服**：病気のせいでなんかげつ  
何ヶ月もねたきりになると、イエス様はエミーに、インドの人達がイエス様の  
あい し  
愛を知ることができるように祈ることを、たびたびしめ  
示されました。その祈りが、もっとおほ  
多くの人達が  
ふくいん う い  
福音を受け入れるのにやくだ  
役立ったのです。

しょうがい  
**障害**：インドには、こどもたち どれい  
子供達を奴隷としてヒन्दウー教寺院に捧げるといふ古いしきたりがありました。  
なか まず  
中には、貧しいせいで生まれてきた女の赤ちゃんを世話できず、かぞく  
捨ててしまう家族もありました。  
おとこ こ にくたいらうどう  
(男の子は肉体労働をして家族のためにかね  
おんな こ  
お金のせいで、女の子よりも価値があると考えられて  
いました。また、むすめ けつこん  
娘が結婚すると、おと ひと  
夫になる人の家族に持参金 ほうら  
払わなければならないので、それも、  
まず かぞく ぶたん  
貧しい家族には負担となりました。)

こくふく  
**克服**：エミーの活動の大部分は、このような、じいん ささ  
寺院に捧げられた子供達を救い出すことでした。あるとき、  
エミーはこども ゆうかいよう ぎ  
子供の誘拐容疑をかけられ、たいほ  
逮捕されて7年間の懲役刑を課されそうになったことがあり  
ました。けれども、エミーはけいむ しょ おく  
刑務所に送られませんでした。「刑事訴訟棄却」といふでんぽう  
電報が届いたのです。  
りゆう まった わ  
理由は全く分かりませんでした。かみさま し ひとたち  
神様を知る人達は、その決定に神様が関わっていたであろうことを  
し  
知っていました。

エミーの生きていた間に、1,000人以上の子供達が、育児放棄や虐待から救出されました。エミーは救出された子供達から「アンマ」と呼ばれていました。タミル語で「お母さん」という意味です。彼女の活動はしばしば危険を伴い、緊迫したものでしたが、エミーは、自分や自分の保護下にある子供達を守ってくださるという神様の約束を、決して忘れませんでした。



きゃくちゆう  
脚注：

1 カースト制度：生まれと職業と富の区別によって決められる社会的身分制度

寄稿：R.A. ワッターソン、ウェブからの引用の編集 絵：ダニエル  
出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2012年、ファミリーインターナショナル  
"Famous Missionaries: Amy Carmichael"--Japanese  
関連の読み物はこちら ⇒ 大きな任務、神の偉大な人々、宣教師